

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-165016

(43)公開日 平成7年(1995)6月27日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号 庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 60 R 22/26

審査請求 未請求 請求項の数7 OL (全4頁)

(21)出願番号 特願平6-271166

(22)出願日 平成6年(1994)11月4日

(31)優先権主張番号 9301901

(32)優先日 1993年11月4日

(33)優先権主張国 オランダ (NL)

(71)出願人 594173197

ネーデルランス カー ベー フェー

オランダ 5708 ハーテー ヘルモント

ステーノフェンヴェック 1

(72)発明者 ローレンティアス アントニウス ヨセフ

アス フアン リーシャウト

オランダ 5731 イエーエン ミエルロ

ファーナケル 52

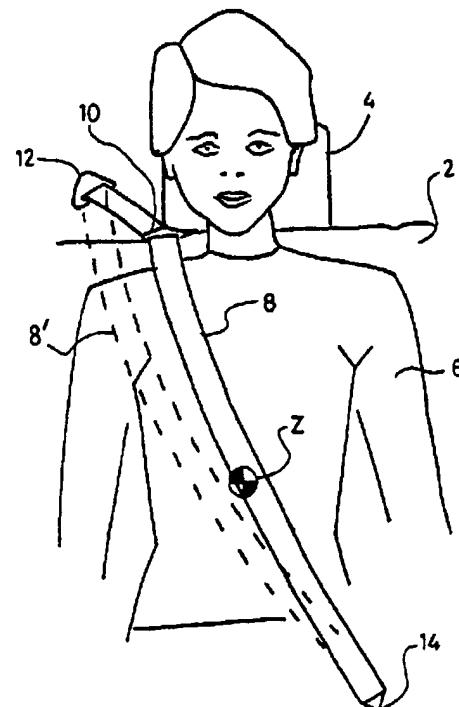
(74)代理人 弁理士 三枝 英二 (外2名)

(54)【発明の名称】 シートベルトガイド

(57)【要約】

【目的】 本発明は、ベルトのたすき部がシート又は子供用シートに座った子供の上半身の重心又はそれより上方の近傍になるように位置させるガイドを提供することを目的とする。

【構成】 ベルトの上端部近傍に配置され且つベルトを取り囲む案内部材を備え、車両又は船舶のシート2の背後面から延びるシートベルトのたすき部8を案内するシートベルトガイド10において、前記案内部材は、シート背もたれ部の上端に、該シート2背もたれ部の起立したヘッドレスト4の縁部から一定距離を設けて取り付けられていることとした。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ベルトの上端部近傍に配置され且つベルトを取り囲む案内部材を備え、車両又は船舶のシートの背後面から延びるシートベルトのたすき部を案内するシートベルトガイドにおいて、

前記案内部材は、シート背もたれ部の上端に、該シート背もたれ部の起立したヘッドレストの縁部から一定距離を設けて取り付けられていることを特徴とするシートベルトガイド。

【請求項2】 前記案内部材は、硬質部材で構成された平らなブラケット状に形成され、シートベルトを挿入するための開口部を残して閉じるように形成されていることを特徴とする請求項1に記載のシートベルトガイド。

【請求項3】 前記案内部材は、シート背もたれ部の上端に固定される取り付け用の紐部材に連接されていることを特徴とする請求項2に記載のシートベルトガイド。

【請求項4】 前記取り付け用の紐部に、ヘッドレストのガイドブッシュが貫通するための少なくとも1の開口が形成されていることを特徴とする請求項3に記載のシートベルトガイド。

【請求項5】 前記取り付け用の紐部は、上方傾斜部分によって、前記案内部材に連接されており、該案内部材は、シートベルトの幅に適合され且つ約180°折り曲げられて延び、その端部は前記上方傾斜部分から一定距離を置いて配置され、シートベルト挿入用開口部が残されていることを特徴とする請求項3又は4に記載のシートベルトガイド。

【請求項6】 シートベルトのたすき部を取り囲む前記案内部材は、それ自体閉じたスリーブによって構成され、着脱自在の取り付け部材を備えることを特徴とする請求項1に記載のシートベルトガイド。

【請求項7】 前記取り付け部材は、ベルクロ部材（面ファスナー）で構成されていることを特徴とする請求項6に記載のシートベルトガイド。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、ベルトの先端近傍に配置され且つそのベルトを囲むガイドを有し、車両或いは船舶のシートの背部から引き延ばされるシートベルトのたすき部のガイドに関する。

## 【0002】

【従来の技術及びその問題点】 このようなガイドは、既に知られているように、例えば、シートベルトに使用される。ここでは、シートベルトの一端部は、車両の床部で自動ブロック機構に保持され、案内部材は、車両本体の支柱に固定されており、高さ方向に位置調整可能なものとそうでないものとがある。

【0003】 ベルトのたすき部が、子供に使用される場所で、特に、子供が子供用の座高の高いシートに座っている時に、従来のたすき部のもたらす問題は、子供の体

の上半身の重心は、ベルトのたすき部が子供の体の上半身に対して接觸する位置より上方に位置することである。このことは、車両が不意に減速した時に、子供の体の上半身がベルトのたすき部の上から飛び出し、前方へ屈曲させられる。このように、シートベルトの役目が極めて不適切なものとなる。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 本発明の目的は、上記問題を解決するために、ベルトのたすき部がシート又は子供用シートに座った子供の上半身の重心又はそれより上方の近傍になるように位置させるガイドを提供することにある。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するためには、本発明に係るシートベルトガイドの第1の手段は、ベルトの上端部近傍に配置され且つベルトを取り囲む案内部材を備え、車両又は船舶のシートの背後面から延びるシートベルトのたすき部を案内するシートベルトガイドにおいて、前記案内部材は、シート背もたれ部の上端に、該シート背もたれ部の起立したヘッドレストの縁部から一定距離を設けて取り付けられていることとした。

## 【0006】

【実施例】 図1は、ヘッドレスト4を備える車両又は船舶のシート2を概略図示している。このシート2には、図示しない子供用シートが装着され、その上に子供6が座っている。この図は、シートベルトのたすき部8が、ヘッドレスト4の近傍に配置された本発明に係るシートベルトガイド10を挿通してどのようにして案内されるかを示している。たすき部8の上端は、符号12の位置で車両本体の固定部分に直接取り付けられているか、又はこれまでに提供され既に知られているガイドを通過している。たすき部8の他端14は、通常の方法によってシート2に固定されている。

【0007】 破線8は、シートベルトガイド10が使用されない状態に於ける、たすき部8の位置を示している。この場合には、子供6の上半身の重心Zは、たすき部8の上方にある。そのことによって、車両が突然減速した時に、子供の上半身がたすき部8の上から打ち出されるという危険性がある。この危険性は、本発明に係るシートベルトガイド10によって防がれる。この場合、重心Zは、たすき部8の接觸部分の下方に位置する。

【0008】 前記シートベルトガイド10は、もちろん、シート2の背もたれ部に固定されるとともに、ヘッドレスト4の左側にできるだけ接近して位置している。これは、図2から図4に示さされているように、様々な方法で達成される。

【0009】 図2は、シートベルトガイド10aの実施例を示しており、このシートベルトガイド10aは、シート背もたれ部20の上端部18上に置かれ且つ上方傾斜部30によって上部案内部材22に連結された紐部1

10

20

30

40

50

6を有し、上部案内部材22の左端部24が右方へと180°湾曲されて上部案内部材22の下方に部分的に位置しており、シート20の上端18上に載置されている下部案内部材26に連接されている。図は、空間32が、紐部16の右端部28と上方傾斜部30との間で、残されている状態を示している。この空間によって、シートベルト34は、挿入することができ、或いは、このガイドから抜出すことができる。

【0010】紐部16は、ヘッドレスト40の支持棒36、38を嵌入するためにほとんどの場合に存在するガイドブッシュ31、33を使用することによって、シート背もたれ部20に取り付けられるのが望ましい。ブッシュ31、33は、紐部16に形成されている、開口部42、44に密接した状態で嵌入されている。そして、鍔部46、48が紐部16を適正な位置に固定する。

【0011】図3は、他の実施例を示しており、紐部16'が図2で説明した方法で左端でシート背もたれ部20'に取り付けられており、符号50で示されているようすに第1上部案内部材52を形成するために右方へと180°折り曲げられ、部分的にシートベルト54を覆っている。このシートベルトを覆う状態は、第2の上部案内部材56によって完全なものとなる。つまり、第2の上部案内部材56は、符号58の位置で左方へと折り曲げられ、紐部16'に固定された底部60に連接されている。上部案内部材52、56の端部52'、56'との間に、シートベルト54を挿入又は抜出しが可能なよう十分な空間が設けられている。

【0012】図4は、ベルトガイド62を示しており、このベルトガイド62は、それ自身でシートベルト66を囲んでいるスリーブ64を有している。このスリーブ64は、底側にベルクロ(Velcro)部材(面ファスナー)68によって構成される取り付け部材が設けられている。このベルクロ部材68は、シート背もたれ部20"の上端72に固定された別のベルクロ部材(面ファスナー)70と協働するベルクロ部材68、70の協働によって取り付ける代わりに、スナップボタンによって固定してもよい。

【0013】もちろん、スリーブ64のシート背もたれ部20の上端72への取り付けは、衝突時に起きる力に耐えるために十分丈夫になされる必要がある。

## 【0014】

【発明の効果】以上、説明したように、本発明のシートベルトガイドによれば、シート背もたれ部に取り付けられ且つシート背もたれ部の外側縁部から一定距離を置いて取り付けられた案内部材によって、シートベルトが子供によって使用され、案内部材が挿通されている時、ベルトのたすき部は、子供の上半身のより上方に巻き付くので、接触位置は、上方へ移動し、体の上半身の重心又はそれより上方の近傍位置となるので、車両や船舶の衝突時のように搭乗者に瞬時に大きな力がかかる場合に、シートベルトに上半身の重心がかかるので、上半身がシートベルトを越えて飛び出し、体が上半身と下半身ことで折れ曲がることによる弊害が防止される。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】子供用シートに座っている子供の正面図である。図には、実線によって本発明によるガイドを結合したシートベルトのたすき部が示されている。そして、従来の状態が破線によって示されている。

【図2】本発明によるガイドの第1実施例を示す縦断正面図である。

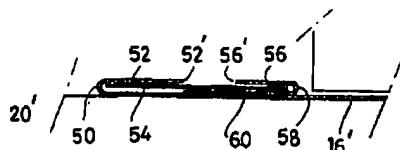
【図3】本発明によるガイドの第2実施例を示す縦断正面図である。

【図4】本発明によるガイドの第3実施例を示す縦断正面図である。

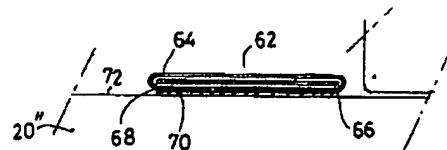
## 【符号の説明】

- 2 シート
- 4、40 ヘッドレスト
- 8 シートベルトたすき部
- 10、10a シートベルトガイド
- 12、14 ベルトの端部
- 16 紐部材
- 20 シート背もたれ部
- 22、24、26 案内部材
- 30 上方傾斜部分
- 31、33 ガイドブッシュ
- 34、54 シートベルト
- 42、44 開口部
- 64 スリーブ
- 68、70 取り付け部材

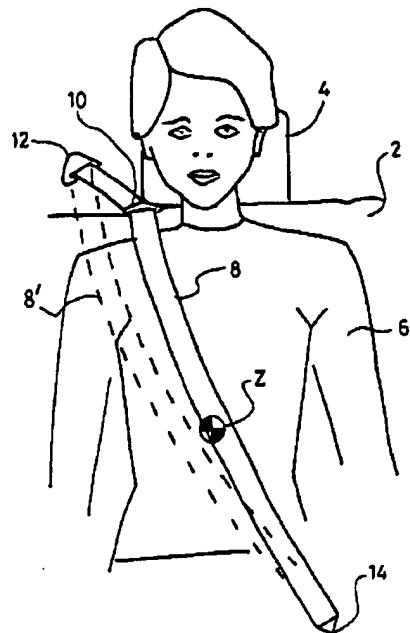
【図3】



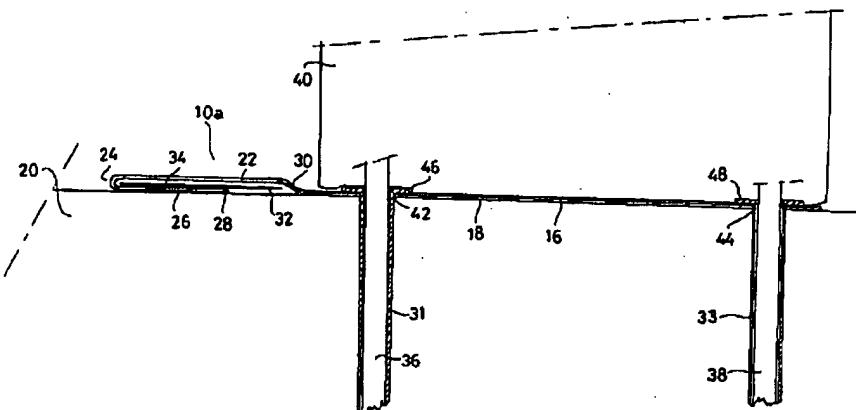
【図4】



【図1】



【図2】



PAT-NO: JP407165016A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 07165016 A  
TITLE: SEAT BELT GUIDE  
PUBN-DATE: June 27, 1995

INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY  
VAN, LIESHOUT LAURENTIUS ANTONIUS J N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY  
NETHERLANDS CAR BV N/A

APPL-NO: JP06271166

APPL-DATE: November 4, 1994

PRIORITY-DATA: 939301901 ( November 4, 1993)

INT-CL (IPC): B60R022/26

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a guide so that the cross portion of a belt may be located at the gravity center of the upper half of a child seated on a seat or a child seat or nearly upward thereof.

CONSTITUTION: A seat belt guide 10 is arranged near the upper end of a belt and provided with a guide member encircling the belt to guide the cross portion 8 of the seat belt extending from the back of a seat 2 for a vehicle or a ship. The guide member is mounted at the upper end of the back rest portion of the seat while being kept at a certain distance from the edge of a rising head rest 4 of the back rest portion of the seat 2.